

第119回スポーツサイエンス研究会

グローバルCOEプログラム「アクティブ・ライフを創出するスポーツ科学」

日時 2012年5月13日(月) 12:10より

場所 早稲田大学 所沢キャンパス 100号館5F 第一会議室

演題 アスリートの皮膚コンディショニング指標の検討

枝 伸彦 先生

(早稲田大学スポーツ科学学術院 助手)

近年、皮膚感染症の対策はアスリートのコンディショニングにおいて重要な課題となっている。アスリートは様々な皮膚感染症に対して罹患リスクを有しているが、特にフットボール、バスケットボール、ラグビー、ホッケー、レスリングなどのコンタクトスポーツで感染が多いと報告されている。アスリートの皮膚表面は、練習やトレーニング時の発汗によってふやけ、日常的に黄色ブドウ球菌などの病原性微生物が繁殖しやすい状態であると考えられる。また、スポーツ活動に伴う皮膚の外傷によって、病原性微生物が皮膚のより深くまで侵入し、感染を引き起こす可能性がある。従って、アスリートにおいて皮膚のコンディショニングは重要であると考えられるが、アスリートの皮膚コンディション評価に有用な指標の検討は未だに行われていない。そこで、発表者は皮膚コンディショニング指標の確立を目的として、運動と皮膚バリア機能の関係を研究している。発表者は、これまでの研究で皮膚の分泌型免疫グロブリンAの測定方法を確立させ、一過性の高強度運動と皮膚バリア機能の関係を明らかにしている。本研究会では、アスリートにおける皮膚感染症の実態や皮膚バリア機能について解説し、高強度持久性運動が皮膚バリア機能に及ぼす影響に関する知見を紹介する。



早稲田大学 スポーツ科学学術院
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 正木宏明・紙上敬太
早稲田大学 スポーツ科学学術院
E-mail: k-kamijo@aoni.waseda.jp